



やさしい日本語 研修会



9月1日「防災の日」、地域の防災活動に外国人市民も取り組みやすくなるよう、「やさしい日本語」を使った呼びかけや防災訓練時の配慮などを学びます。

オンライン(Zoom)で開催しますが、専用会場で参加することもできます。

※講師はオンラインで講義します。



簡潔・明快・具体的な「やさしい日本語」は、現在、災害時や平時の生活情報、外国人観光客の対応など、幅広い場面で活用されつつあります。

情報を一度により多くの人にわかりやすく伝える言葉として「やさしい日本語」の研究が進んだのは、外国人住民が情報弱者となった阪神・淡路大震災がきっかけでした。近年、気候変動の影響で、特に風水害が多発するようになり、避難情報が頻繁に発令さ

れることが多くなっています。さらに、災害時、住民は5段階の警戒レベルでとるべき行動を判断することが求められることになり、平時に災害に備えることの重要性は益々高まっています。

今回、日本の災害に不慣れた外国人市民も防災に取り組むやすくなるよう、ステップアップ版「やさしい日本語」を学びます。地域での呼びかけや防災訓練、掲示物の作成などに役立ててみませんか？

やさしい日本語
書き換え例

停電します。

➔ でんきが つかえません。 / でんきが とまります。

避難する場合に備えてください。

➔ にげる じゅんぴをして ください。

日時

2021年 9月 1日(水) 午後1時30分～午後3時

会場

Zoomを使用しない方の会場：市民プラザたけふ(3階)大会議室2
越前市府中一丁目11-2 (アル・プラザ武生3階)

参加料

無料 ※どなたでも参加頂けます。

定員

20名程度 ※要事前申込み

講師



まつもと よしひろ
松本 義弘 氏

(一財)自治体国際化協会(CLAIR)地域国際化推進アドバイザー
(一社)日本フェアトレード・フォーラム(FTFJ) 認定委員
(公財)横須賀市産業振興財団(YIPF) 常務理事・事務局長

2008年から、全国の自治体・国際交流協会・社会福祉協議会など110以上の団体で「やさしい日本語」「多文化共生」の講師・ファシリテーターを務める。「公務員のための外国語活用術」(毛受敏浩著 2012年6月29日ぎょうせい)で「やさしい日本語」「文化通訳」の必要性を訴えている。

主催

越前市国際交流協会(EIA)

共催

越前市

お問合せ
お申込先

越前市国際交流協会 〒915-0071 越前市府中 1-11-2 市民プラザたけふ(3階)
[メール] info@e-i-a.jp [電話] 0778-24-3389 [FAX] 0778-24-5951



QRコードからもお申込みいただけます▶

「やさしい日本語」研修会(2021年9月1日) 申込書【FAX 送信先 0778-24-5951】

| | | | |
|------|--|------|--|
| ご氏名 | (ふりがな) | ご所属先 | ※団体様のみ |
| 電話番号 | メールアドレス: info@e-i-a.jp にメールを送信して下さい。 | | 参加形式 (会場) |
| | | | いずれかに「✓」を付けて下さい。 <input type="checkbox"/> Zoom(自宅・職場等) <input type="checkbox"/> 市民プラザたけふ |